

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 歴史新聞をつくる前に（1時間完了）

目標 インターネットを活用して集めた写真や絵，文章を使うときに，許可を得る必要があることに気付くことができる。

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	情報モラルにかかわる 評価の観点と方法
5分	1 本時の学習内容を知る。	インターネットを活用して，歴史新聞づくりに取り組むとき，気を付けなければいけないことを考えることを知らせる。	
10分	2 情報モラルクイズに取り組む。	インターネットを使っていく上での約束事を振り返らせるために，情報モラルクイズに取り組ませる。 解答が終わった児童は解説を読ませ，自分の活動を振り返らせる。 全員が終わったら，集計から正答率の低い問題を全員で振り返り，解説を読ませる。	
10分	3 情報モラルクイズから選んだ問題について話し合う。	<p>情報モラルクイズ（中学年）</p> <p>インターネットで集めた，写真や絵，文章は，自由に使ってもよい。</p> <p>なぜ，自由に使ってはいけないのかを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由に使ったとき，どのようなことが起きるのかを考えさせる。 凶工のとき，友達の絵をまねさせたという児童の経験を手がかりに考えさせる。 どうしても使いたいときにはどのようにすればよいかを考えさせる。 <p>web サイトには，許諾の取り方などが掲載されているページがあることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史新聞に使うとき，その内容が本当に正しいかの吟味が必要であることを伝える。 複数のページを見て吟味し，情報を扱うようにさせる。 	
5分	4 許諾が必要なときの許諾を得る方法を知る。	web サイトの例を示し，メールで許諾を求める方法を知らせる。	自由には使えず許諾を求めることが必要であることに気付いたか，児童の発言や様子からつかむ。
15分	5 メールで許諾を得るための下書きをつくる。	<p>「どの情報を，どのような目的で，どう使うのか」がはっきりと分かるメールの下書きを考えさせ，ワークシートに書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 早く書き上げた児童は，友達に相手の立場に立って読んでもらうように指示する。 メール以外でも，電話や手紙でもよいことを知らせる。 活用した情報を扱う際には出典先を明記する必要があることを知らせる。 	メールで許諾を得るための文を書くことができたか，児童の記述からつかむ。

「歴史新聞を作る前に」ワークシート

番号 氏名()

1 下のクイズに取り組んでみよう

インターネットで集めた，写真や絵，文章は自由に使ってもよい

- 1 . はい 2 . いいえ

2 先生からクイズの答えを聞いてから，その理由を考えてみましょう。

(自分の考え)

(まとめ)

3 メールで^{きょだく}許諾をとりたいと思います。その下書きを書いてみましょう。

(どの情報を)

(どのような目的で)

(どう使う)

4 今日の学習内容はよく分かりましたか？

よく分かった 分かった 少し分かった あまり分からなかった

--	--	--	--

5 授業の感想を書いてください

--